

# 市民ネットワーク・のだ 通信

No.111  
2014年7月

野田市議会議員  
小室みえこ  
野田市山崎2694 C-302

編集発行：市民ネットワーク・のだ 住所：野田市野田 815-2 Tel:7123-6981 Fax:7123-6982  
http://www10.ocn.ne.jp/~nodanet/ Eメール shiminnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

## 抗議の緊急声明 集団的自衛権行使容認 内閣一存は憲法否定

安倍政権が憲法解釈により集団的自衛権の行使を閣議で決定しましたが、その前日(6/30)、「自治体議員立憲ネットワーク・千葉県」は、緊急の抗議声明を発表しました。小室みえこは議会閉会后、千葉県庁に移動し、立憲ネットワークの議員とともに記者会見に参加しました。

憲法を解釈で変更するとは、国会軽視も甚だしく、立憲主義をないがしろにしています。地方議会の存在さえ無視されかねません。

このような暴挙の前に一地方議員として、未来を担う選挙権のない子どもたちのためにも行動することが大事だと考えます。

この日、野田市議会では集団的自衛権の行使容認に反対する意見書が出ました。小室みえこは、「日本の平和主義を憲法解釈の変更で変えるというのなら、限定的、明白な危険といった言葉で歯止めが効くとは思えない。」と賛成討論を行いました。しかし、採決の結果は反対多数で否決されてしまいました。



緊急声明発表後に市民ネットワークの仲間と

### 自治体議員立憲ネットワークとは

安倍政権の憲法の解釈変更による集団的自衛権行使容認という「立憲主義の破壊」に危機感を抱いた自治体議員がネットワークを6月15日に設立しました。超党派の地方議員や趣旨に賛同する市民で構成され、6月末現在、全国の地方議員244人が賛同しています。

### 水に寄りそう街だから

野田市は川に囲まれた地形上の問題があり、全世帯に洪水ハザードマップが配布されています。我が家は七光台駅近くの住宅地に

あります。今から35年程前に引越してきました。当時は七光台駅前から現在の光葉町の辺り迄、座生沼と呼ばれる湿地帯でそれが遊水地の役割をしていました。宅地開発を条件に座生川は1級河川として整備され現在は1000戸近い住宅地になっています。新しい街に合わせた土地の造り方をするため、私の住んでいる所は一番低いところになってしまふことを知り、当時何軒かが集まって市に要望書を出し改善を要求しました。50年に1回の洪水を想定している設計だということで、市長の言う21世紀の街づくりが優先され現在に至っています。

昨年8月6日の豪雨は、悪条件が重なり近所では車や床下浸水の被害のお宅もありました。最近の異常気象のため、雨が降るたびに不安になります。自主防災会では車の避難場所を交渉するなど自衛手段をとっています。また個別に市に改修を求めるなどして、応急的な工事が始まります。

ここと同じような所がまだあると聞いています。水に寄りそう人にやさしい街づくりを目指して欲しいと思います。

(五木新町 山本千鶴子)

